

## 上馬場恵美須会（南さつま市）

発表者：堂 蘭 三 弘 氏

こんにちは。私は、老人クラブ上馬場恵美須会の堂蘭と申します。10分間のお時間ですので少し早口になろうかと思いますが、よろしくお願いいたします。

私たち老人クラブのある南さつま市金峰町は、薩摩半島のほぼ中央に位置し、東に薩摩三峰と呼ばれる標高636メートルの金峰山、西に日本三大砂丘の吹上浜が広がり、未開発地が多く、田園地帯が広がる自然豊かな小さな町です。主な産業は農業で、特に「おいしさ輝く金峰コシヒカリ」は超早場米として有名なところです。



上馬場恵美須会の会員数は、9月現在、男性10名、女性26名、計36名です。アベノミクス成長戦略の女性が輝く日本を先取りし、女性パワー大なりという感じで、特に女性がパワフルに活動しております。

私たちの住む地域は、自治会編成により、平成25年4月1日に2つの自治会が合併し、世帯数123戸、人口280名、65歳以上93名、6歳児未満23名、小学生20名、中学生7名で、高齢化率は33.2%です。

県老連では、平成30年度まで5万人会員増強運動が展開されています。全老連で100万人、南さつま市老連で1,000人増を目指しておりますが、私たちも上馬場恵美須会の必達目標会員数42名に向かって、社会変動の流れに即応し、会員増強も図りながら、さらに地域貢献に寄与し、魅力あるクラブづくりを目指して活動中です。

それでは、過去の活動と平成26年度の恵美須会の主な活動を6項目に分けてお話しいたします。

まず、1つ目です。毎月第2火曜日、上馬場研修センター内で定例会を開催しております。内容は、年間計画の先月分の事業報告、向こう1～2カ月間の事業計画を確認し、協議します。参加者は、毎回20名前



後です。定例会終了後、サロンが始まります。サロンの名称は「むつみ会」といまして、会員の女性を中心に、会員外の数名の女性で構成しています。軽体操、愛唱歌合唱、お手玉遊び、ビンゴゲームなど、お茶を飲みながら心と体のリフレッシュを図っております。

月ごとの活動としては、4月の総会では、子どもの頃の遊びや暮らしを通じ、認知症予防に取り組もうと回想法を実施し、終了後、たけのこご飯を作り会食しました。5月はゲーム、6月は研修センター室内用として七夕飾りを2組作り、7月も世代間交流として子どもたちと七夕作りをしました。飾りつけた七夕飾りは、残念ながら、台風接近のため4日間で片づけとなりました。8月は市内研修で、南さつま市地域包括支援センターによる認知症予防、介護についての講話を聞いた後、職員3名の寸劇を観劇いたしました。9月はお寺の住職の講話を聞き、10月、今月ですが、食生活改善グループによる料理の振る舞い、運動推進員による軽体操、童謡の合唱を行い、来月11月は、消費生活センターにお願いして、訪問販売、ハイハイ学校等の南さつま市内における消費者トラブル事案について、意見交換を行う予定にしております。また、市外研修旅行を11月26日、NHK鹿児島放送局の見学を予約済みです。12月は薬剤師さんの講話、1月は鏡開きでお汁粉の振る舞い、2月はちらしずし作り、3月は市内研修で出前講座を予定しています。弁当を食べて、ビンゴゲームは全員の景品を準備します。



今までの主な出前講座では、警察署、消防署、消費生活センター、九州電力、歯科衛生士、保健師の方々を呼び、高齢者向きのそれぞれの職種の専門的なことについて学んでおります。

2つ目ですが、自治会事業の月1回の資源ごみ分別作業では、若手会員数名が高齢者宅に出向き、軽トラックで収集場所へ搬送の手伝いをしています。

3つ目、民生委員さんを中心に、福祉ネットワーク構成員による月数回の高齢者の見守り、





声かけ、健康状態、安否確認、世間話等をして孤立化を防止しております。

4つ目、大雨、台風接近時の声かけ、養生等の手伝い、必要なときは避難誘導を行っています。最近では避難所ではなく、ご近所宅へ避難されています。

今月5日の台風18号、1週間後の12日の19号接近中にも、声かけや、雨戸の養生を手伝い、そのうち3名が知人宅へ自主避難し、1名を知人宅へ車で避難誘導しております。大変喜ばれております。

5つ目、美化（奉仕）活動として、年5回、4月、7月、9月、11月、12月は、子ども会と一緒に地区内にある南方神社の清掃を行っております。

6つ目、世代間交流として、年3回、1月1日の拝賀式、7月は夏休み期間中の竹細工、神社清掃、12月は神社清掃と餅つき大会を行っております。本年度ですが、田布施小学校PTAから要請があります。12月14日にPTAから予約されています。

そのほか、市老連主催のゲートボール大会、グラウンド・ゴルフ大会、ヤングシルバースポーツ大会、ニュースポーツ、体力測定、砂の祭典会場内の花管理、献血推進活動、一人一枚雑巾活動、椿実収集、毎月1日と16日の健康ウォーキングを行っております。また、南さつま市福祉課の元気度アップ・ポイント事業は、1時間以上の諸活動に1ポイント、年間上限50ポイントは5,000円分の市内で使える商品券と交換できます。会員の約半数の方が50ポイントを獲得しているところです。

以上のような活動に対し、評価していただきまして、栄えある受賞に際し、地域の皆様を始め、関係者の方々の深いご厚情に感謝申し上げますとともに、この受賞を励みとし、これからも地域の活動の担い手としての一助となり得るよう、特に女性パワーを存分に発揮していただきながら、無理なく楽しみながら、生きがいつくりとして活動してまいります。



本日はありがとうございました。終わります。（拍手）